

(2) インフルエンザ及び感染性胃腸炎の発生状況(表13、図4参照)

令和5年シーズン(令和5年6月下旬～令和6年6月下旬)の特徴。

インフルエンザは、ここ数年患者報告数が大幅に減少していたが、令和5年は新型コロナウイルス感染症発生前よりも大幅に増加し、例年より早い時期から流行が見られた。

感染性胃腸炎は、患者報告数は例年並みで大きな流行は見られなかった。

表13 インフルエンザ及び感染性胃腸炎の発生状況

インフルエンザ(単位:人)					感染性胃腸炎(単位:人)				
	東部	中部	西部	県計		東部	中部	西部	県計
平成30年シーズン	2,523	2,038	3,106	7,667	平成30年シーズン	2,482	1,769	1,974	6,225
令和元年シーズン	1,929	1,356	1,640	4,925	令和元年シーズン	1,734	1,122	1,261	4,117
令和2年シーズン	0	0	5	5	令和2年シーズン	1,087	622	1,218	2,927
令和3年シーズン	0	0	3	3	令和3年シーズン	1,727	1,120	1,310	4,157
令和4年シーズン	817	314	731	1,862	令和4年シーズン	2,258	1,319	1,335	4,912
令和5年シーズン	4,758	4,217	5,198	14,173	令和5年シーズン	2,115	1,225	1,332	4,672
6年シーズン平均	1,671	1,321	1,781	4,773	6年シーズン平均	1,901	1,196	1,405	4,502

※当年6月下旬～翌年6月下旬

